

本格実施に向けた改善検討事項（案）

全国学生調査（第4回試行実施）において、本格実施に向けて、大学から要望や問い合わせ等があった主な事項は以下のとおり。

I. 検討を要する事項

【参加大学が実施する学生調査（調査方法②）】

- （１）大学独自の質問項目について、全国学生調査の質問項目の文言に統一せず、各大学の判断で、同じ趣旨の質問項目を全国学生調査の質問項目に読み替え、あるいは、全国学生調査の質問項目の要素を分離して大学の学生調査を実施したい。

→ 原則として不可。ただし、読み替えについては、文部科学省に個別相談を行い、軽微なものと認められたものは全国学生調査の回答として扱う。

《留意点》

各大学の判断で質問項目の読み替え等を認めた場合、調査結果の正確な比較分析が困難になるケースが想定される。

【参考】第4回試行実施（調査方法②）における質問項目（実施概要）【抜粋】

○調査方法②について

・調査結果の比較分析ができるよう、各大学の学生調査では、本調査の質問項目は変更せず同じ文言に設定する。

- （２）選択肢について、大学の学生調査は8件法で実施しており、データ提出の際に4件法に置き換えたい。

→ 原則として不可。ただし、文部科学省に個別相談を行い、軽微なものと認められたものは全国学生調査の回答として扱う。

《留意点》

各大学の判断により選択肢の変更・変換を認めた場合、調査結果の正確な比較分析が困難になるケースが想定される。

- （３）生活時間数は、時間数そのものを回答させ、データ提出の際に全国学生調査の選択肢（時間数帯）に置き換えができるようにしてほしい。

→ 実施要領にできない旨を明確化。

《留意点》

自由記述と選択肢の違いにより、回答内容にずれが生じる恐れがある。

- (4) 全国学生調査の全 33 問を大学の学生調査に設定しなくてもよい設計にできないか（数項目でも回答が収集できなければ、調査に参加したとみなされないか。）。

→ 試行実施と同様に、実施要領にできない旨を記載。

《留意点》

これまでの試行実施は全問回答を前提に設計しており、文部科学省が実施するインターネット（WEB）調査（調査方法①）との整合が必要。

【参考】第 4 回試行実施における調査結果の取扱い（実施概要）【抜粋】

(1) 文部科学省

集計に当たっては、全ての調査項目（自由記述を除く。）に回答したものを「有効回答」として集計する。

【結果公表の同意】

- (5) 結果公表の同意は、学部単位でもよい。

→ 結果公表の同意は、大学単位とする。実施要領において明確化する。

《留意点》

全国学生調査への参加は、大学単位であり、結果公表も同様とすることが適切。

- (6) 結果公表に同意する時期は、自大学の調査結果が把握できてからでよい。

→ 結果公表の同意は、参加意向等確認時（調査実施前）とする。実施要領において明確化する。

《留意点》

令和 8 年度以降の全国学生調査（本格実施）では、結果公表に係るインセンティブ設定が検討されているが、調査実施後の結果同意となる場合、調査実施翌年度となり、令和 8 年度から適用できない。

【参考】実施方針の事務連絡における追加説明事項

令和 8 年度以降の全国学生調査（本格実施）においては、現在審議中の中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会における議論を踏まえ、基盤的経費や大学教育再生戦略推進費に係る各事業の申請・採択等において、本調査への参加や結果公表を加点要素ないし要件とすることを検討する。

Ⅱ. その他改善を行う事項

【調査方法②のデータ提出方法】

- (1) 大学の学生調査を3月下旬まで実施しているため、データ提出を4月以降にしてほしい。
- 第4回試行実施では「4月30日まで」をデータ提出期限としており、対応済み。実施要領において明確化。
- (2) 独自調査データを調査方法①の回答データに合わせる作業を効率化できないか。
- 対応する方向で調整。
- 《留意点》
- ・大学の負担が減少するようなツール開発したうえで、調査実施マニュアルとともに各大学に提供する。
 - ・各大学に回答データ様式の事前共有を行い、事前準備しやすくする。
- (3) 全国学生調査は匿名式としているが、大学の学生調査は記名式で行っている。これまで通り記名式で実施し、個人を特定する情報を削除したうえで文部科学省にデータを提出することでよい。
- 第4回試行実施では、調査実施マニュアルにおいて個人を特定する情報の削除を指示していたが、実施要領において明確化する。

【質問項目の表記】

- (4) 選択肢「①よくあった～④なかった」等について、丸囲み数字は環境依存文字なので半角数字にするとともに、ポジティブな選択肢に大きい番号が付くように並び順を変更してほしい。
- 実施要領に反映。
- 《留意点》
- ポジティブリスト作成時の点数換算に資する。
- (5) 実施概要（問1の4, 5, 6…）と回答データ様式（問1の1-1, 1-2, 1-3…）の設問番号が異なっており、変換が必要なので揃えてほしい。
- 実施要領に反映。

【ポジティブリストの公表手続き】

(6) ポジティブリストに掲載される学部（学科）は、参加大学の「結果公表の同意」を得ずに公表するのか。

→ ポジティブリストは、参加大学の「結果公表の同意」を得ずに公表する旨を実施要領に明示するとともに、参加意向調査時にもアナウンスする。

【英語による周知】

(7) 「英語版チラシ」「英語版周知・回答依頼」など、英語による周知も行ってほしい。

→ 対応する方向で調整。